

学生目線の観光提案へ

どの観光事業者ら10人強が交代で講師を務め、観光業の基礎知識やコロナ禍の現状などを学んでいる。

観光ツアーの企画は毎年

現地実習を行ったのは、今年6月に開講した。ふ

恒例で、昨年度は4期生も

同校の総合ビジネス学科の

出石地域で電動バイクを生

5期生11人。同学科の目玉

としたプラン作りに挑戦し

講義「観光概論」の一環で、

た。今年は豊岡の市街地が

林大悟社長や、城崎温泉な

テーマ。学生たちは10月末

旧料亭「とどろ兵」を見学。

アートの発信拠点としての

機能などについて聞いた

後、たびぞう社の電動バイ

クや電動三輪タクシー「ト

ウクトウク」に分乗し、観

光スポット探しに臨んだ。

学生らは今後、来年11

2月の発表を目指して観光

プランを練り上げる。磯崎

秋吾さん(19)は「北但大震

災の復興建築群をはじめ、

豊岡に住んでいても知らな

かった歴史や新たな発見が

あった。楽しかったことを

観光プランで提案したい」

と話す。西村夏海さん(20)

も「電動バイクは初体験だ

ったが快適だった。地図に

ない神社や知らない路地を

走る楽しさを体験できた」

と喜んでいた。

電動バイクなどを生かした観光プラン作成に取り組んでいる学生たち＝豊岡市大磯町



県立但馬技術大生 市街地の新たな魅力発掘

北但大震災復興建築群など巡り

豊岡 県立但馬技術大学校(豊岡市九日市上町)の学生が、豊岡市街地での観光プラン作りを進めている。電動バイクや自転車で市街地を走り、北但大震災の

復興建築群などの見どころを探索。電動バイクで城崎温泉街を巡る「城崎ぷちたび」などをモデルに、学生目線での企画提案に向けアイデアを練っている。(阿部江利)